

簡易入札（見積競争）公告

1. 簡易入札（見積競争）に付する事項
高圧タンク内部塗膜補修作業
2. 競争に参加する者に必要な資格に関する事項
 - ① 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所契約事務取扱細則第31条の規定に該当しないものであること。ただし、未成年者、被保佐人又は被補助者であって、契約締結のために必要な同意を得ている者については、この限りでない。
 - ② 簡易入札時において、国土交通省から指名停止処分を受けていない者であること。
 - ③ 経営の状況又は信用度が極度に悪化していないと認められる者であり、官公庁、独立行政法人及び教育・研究機関等における本件に類する履行実績を有し、当所に対する適正な契約の履行が確保される者であること。
 - ④ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずるものとして、国土交通省公共事業等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
3. 契約条項を示す場所
〒181-0004 東京都三鷹市新川6-38-1
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 総務部会計課契約係
TEL 0422-41-3489
FAX 0422-41-3242
MAIL kani_keiyaku@m.mpat.go.jp
4. 簡易入札説明会を開催の有無 無
5. 簡易入札執行に関する説明事項及び仕様書の配付場所
説明事項はHP掲載、仕様書は添付ファイルのとおり
6. 簡易入札執行に関する説明事項及び仕様書に対する質問の受付
質問は、文書（書式自由。ただし、A4版とする。）により行うものとし、持参、郵送（ただし、受付期間内に必着のこと。）、FAX、MAILのいずれの方法でも可能とする。
ただし、FAXの場合は着信を確認すること。なお、文書には、回答を受ける窓口の部署、氏名、電話及びFAX番号、電子メールアドレスを併記すること。
 - ① 担当部署 3. と同じ
 - ② 質問の受付期間
令和7年 1月 29日 (木) 10時00分から
令和7年 2月 2日 (月) 16時00分まで
(持参の場合は、期間中の土・日・祝日を除く毎日の10時00分から16時00分まで)
7. 見積書の提出方法、提出先及び提出期限（※必ず見積書の原紙を提出すること）
提出方法：簡易入札執行に関する説明事項による。
提出先：3. と同じ
提出期限：令和7年 2月 3日 (火) 12時00分まで
なお、見積書の提出は、2. に掲げる競争に参加する者に必要な資格に関する事項を全て満たすことを前提とし、確認のためのヒアリング若しくは資料提出等を求める場合があるので、その場合に対応できる体制であること。
8. 簡易入札保証金に関する事項
免除
9. 見積書の無効
本公告2. に示した競争参加資格の無い者が提出した見積書及び見積競争に関する条件に違反した見積書は無効とする。
10. その他
 - ① 契約保証金に関する事項 免除
 - ② 見積競争の結果、予定価格以下の見積書の提出がなかった場合は、7. に掲げる提出期限までに見積書の提出があった者から見積書の提出を求め、再度の見積競争をする。
再度の見積競争をもっても予定価格以下の見積書の提出がなかった場合は、7. に掲げる提出期限までに見積書の提出があった者から、見積書を再々度の提出を求めることがある。
 - ③ 落札者となるべき者が二人以上あるときは、入札執行事務に関係ない職員がくじを引き落札者を決定するものとする。

令和7年 1月 28日

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
契約担当役 海上技術安全研究所長 平田 宏一 (公印省略)

※本件に関するお問い合わせ先
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 総務部会計課契約係

仕 様 書

1. 件名及び数量

高压タンク内部塗膜補修作業 1式

2. 概 要

当所の高压タンク本体の健全性を維持するために、タンク内面の塗膜の補修を実施する。

3. 仕 様

以下の仕様を満たすこと。

下記の要領で、高压タンク本体の内部ライニングの点検及びタッチアップを行うこと。

- 点検及びタッチアップの対象箇所は別添 1「高压タンク内塗装箇所」に示す P-3 の箇所とする。
- 点検では、目視によりライニングの剥離等の有無、ピンホールテスターによりピンホールの有無を確認する。
- ライニングに剥離、傷、ピンホール等がある場合は、ベルゾナ MP エラストマーを用いてタッチアップを行う。タッチアップ用の施工法等は別添 2「ゴムライニングタッチアップ施工要領」に記載の通りとする。
- 請負人は作業前に監督職員立会の下、作業場所を確認すること。
- 作業日は監督職員と相談の上、決定すること。

4. 提出書類

作業終了後、作業報告書を 2 部提出すること。

5. 納 期

令和 8 年 3 月 24 日 (火)

6. 作業場所 東京都三鷹市新川 6-38-1

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

海上技術安全研究所 海洋環境保全総合実験棟

7. 監 督

監督職員が必要と認める事項について適宜監督を行う。

監督職員：高野 慧

8. 検 査

塗膜補修作業完了後、検査職員が仕様に基づき検査を行う。検査職員が上記仕様を満たすことを確認した場合に合格とする。不合格の場合、請負人は速やかに対応し再検査を受けること。

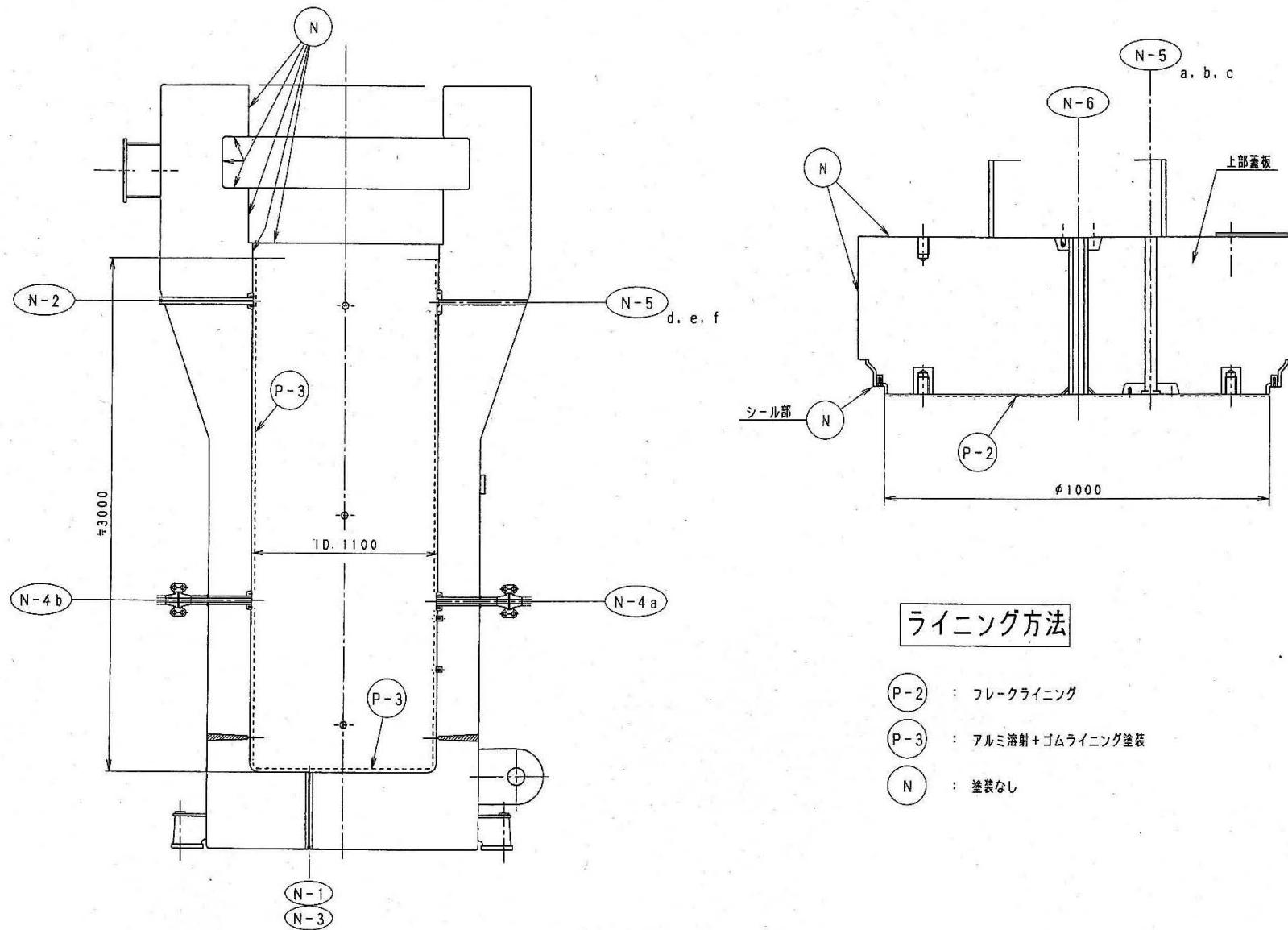
9. 保 証

納品（作業完了）後1年間は保証期間とし、この間に発生した使用者の責によらない故障・不具合等については、無償で修理・交換すること。

10. そ の 他

- (1) 本仕様書について疑義の生じた場合は、監督職員と協議のうえ、その指示に従うこと。
- (2) 作業の実施においては、関係法令及び当所の安全規則等を厳守し、安全管理を徹底すること。
- (3) 作業完了後、作業により生じた不要品（ゴミ等）は、所外に搬出し適切に処分すること。
- (4) 本仕様書に記載のない事項に関しても、使用上当然必要とされるものについては請負人の負担において追加・修正すること。
- (5) 作業中に生じた事故及び物損事故について、当所の責によるもので無い場合、一切の責任は負わない。また、その保証もしくは交換等は請負人の責において速やかに行うこと。
- (6) 当所に来所する際には、必ず正門横守衛所にて記帳のうえ、所内証を受領し掲示すること。また、退所時は所内証を守衛所に返却すること。

別添1 高圧タンク内面塗装箇所



別添2

ゴムライニングタッチアップ施工要領

塗装品名:ベルゾナ MP エラストマー(ハイビルド)

施工法:次の要領及び塗装品に添付される取扱説明書によりタッチアップ補修を施工すること。

1. 作業は必ずゴム製保護手袋をつけて行うこと。
2. タッチアップ部をアセトン等の溶剤で拭き、可能な限り表面の黒染め艶消し塗装(スプレー・ラッセン)を除去する。
3. ダンボール紙の上に少量ずつ MP エラストマーを取り出し混ぜ合わせる。混合比は容量比で、主剤(黒色)3に対し硬化剤(白色)1とすること。
4. 主剤・硬化剤を取り出す際は、それぞれ別のヘラを使用すること。
5. 混合は素早く色ムラがなくなるように施工すること。
6. 混ぜ合わせたエラストマーをゴム手袋をつけた指先に取り、塗りこむように塗布する。厚みは 0.5~1mm 程度とし、塗布範囲は損傷部及びその周囲 2cm を目安とすること。尚、タッチアップ作業にはコンディショナーの塗布は不要である。
7. 既設ライニング面と段差が生じないよう可能な限り端部は薄く仕上げること。